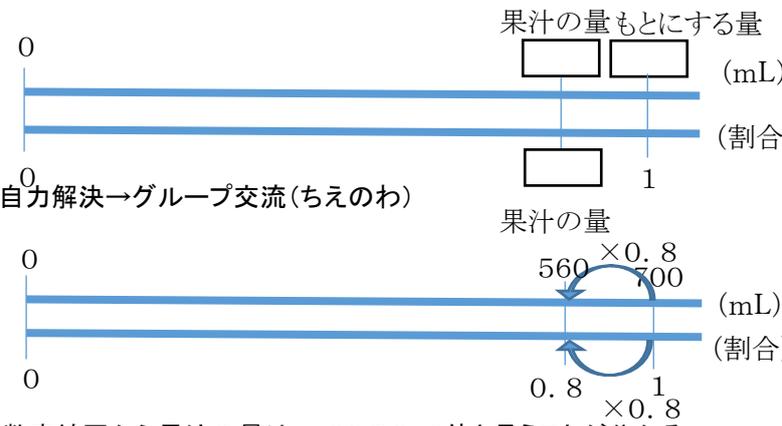


5 本時のねらい

数直線図を根拠に、比べる量の求め方を話し合う活動を通して、もとにする量700mL に割合の0.8をかけると比べる量の果汁が求められることに気づき、比べる量は、「もとにする量×割合」で求められることが理解できる。(知識・理解)

6 本時の展開

過程	主な学習内容	指導・援助・評価
つかむ	<p>1 問題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 果汁が80%ふくまれている飲み物があります。この飲み物700 mLには、何mLの果汁が入っているでしょう。 </div> <p>2 問題場面を把握し、学習課題をたてる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もとにする量は何だろう 飲み物700mL ・割合は何だろう 0.8 ・比べる量は何だろう 果汁の量 ・数直線図を使ったら求められそうだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 数直線図を使って、もとにする量と割合から比べる量である果汁の量を求めよう。 </div>	<p>(実態の見届け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返る。 ・問題場面がイメージしやすいように、実物を用意する。 ・どの児童も大まかな問題場面が把握できるように、果汁の量を求めること、もとにする量の80%であること、80%は0.8になること、を確認する。 ・問題文と数直線(未完成)のかかれたワークシートを配る。
深める	 <p>3 自力解決→グループ交流(ちえのわ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線図から果汁の量は、700の0.8倍と言うことが分かる ・$700 \times 0.8 = 560$ 答え560mL 	<p>(学習状況の見届け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線図を根拠にもとにする量700 mLの0.8倍が比べる量になることをとらえさせる。 ・式と数直線図のつながりを感じられるように、式を説明する際は、数直線図と照らし合わせながら説明するようにする。 ・自分の考えがもてない児童もグループの仲間の考えを聞いて、考えを持てるよう声をかける。 ・数直線図の有用感を感じられるようにする。
まとめる	<p>4 全体で交流する</p> <p>求め方を発表し、比べる量の求め方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もとにする量の700mL に0.8をかけると果汁の量になる。果汁の量は、比べる量だから、もとにする量に割合をかけると比べる量になる。 <p>5 本時の学習内容を確認し、まとめる</p> <p>比べる量を求める式を、言葉の式にまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 比べる量＝もとにする量×割合で求められる。 </div> <p>6 練習問題に取り組む</p> <p>えんぴつ4</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 20Lの25%は、何Lでしょう。 ② 180㎡の8%は、何㎡でしょう。 <p>えんぴつ5</p> <p>ドーナツが土曜日に250個売れました。日曜日には、土曜日に売れた数の140%が売れました。日曜日に売れたドーナツは何個でしょう。</p>	<p>(定着状況の見届け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着状況を見るため、一つの目の問題と同じように数直線図を使って自力で解けるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> もとにする量、比べる量、割合の関係を数直線図に整理し、問題を解くことができる。【知識・理解】(グループ交流・ノート) </div>

